

第13単元 小数①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	30 (各10)	① 0.1	[知技]10等分した1こ分が0.1であることと、その何こ分ではしたの量を表すことを理解している。	まずは、それぞれの一番小さい1目盛りは、基本となる1Lや1cmが10等分されていることをおさえる。0.1を図の中にぬらせる活動ができるだけ多く取り入れる。
		② 0.6		
		③ 0.4		
②	20 (各10)	① 3.7	[知技]数直線上の小数を読み取ることができる。	1が10等分されていること、その1こ分が0.1であることへの理解が基本となる。児童に数直線を作らせる活動も有効である。
		② 0.3		
③	20 (各5)	ア 0.6 イ 1.9 ウ 5.8 エ 7.8		
④	30 (各5)	① 3.3 ② 2.4	[知技]小数の加減計算を筆算ですることができる。	整数の筆算と同様に、位をそろえて位ごとに計算するという事は、同じ単位(1、0.1)どうしで計算しているということをおさえるようにする。
		+ 2.8 + 4.6		
		6.1 7.0		
		③ 5.3 ④ 8.7		
		- 2.7 - 5.7		
		2.6 3.0		
⑤ 2.4 ⑥ 5				
+ 3 - 1.6				
5.4 3.4				

第13単元 小数②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて	
①	① 0.4 ② 0.6 ③ 4 ④ 74	[思判表]1つの小数を多面的にとらえている。	数直線等を基に、数の構成をとらえさせ、様々な見方や表し方があること気づかせる。	
②	(順に) 12、4、16、1.6	[思判表]小数の加法を、0.1を単位にして考えると、整数と同じように考えられることを説明している。	0.1が10こで1。これが基本となる。 1.2 →0.1が12こ 0.4 →0.1が4こ あわせて0.1が16こ このように説明できるようにする。	

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	6問以上	5～3問	2問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。